

## 第4章 計画の実現に向けて

## 第4章 計画の実現に向けて

### 1 計画の分かりやすい発信

今後の津山市の教育の目指すべき方向や具体的な施策等を、学校・家庭・地域がしっかりと共有できるよう、SNS等による情報発信も工夫しながら、市民に分かりやすい丁寧な説明と情報の提供に努めます。

### 2 客観的な根拠を重視した教育施策の推進

数値化できるデータ・調査結果のみならず、数値化が難しい側面（児童生徒等の課題、保護者・地域の意向等）について、可能な限り情報を収集・分析することで、客観的根拠に基づいた教育政策に取り組みます。

### 3 地域住民・ボランティア・NPO・企業等との協働

家庭・地域・ボランティア・NPO・企業・青少年関係団体・大学など多様な主体と行政が、この計画における基本理念等を共有し、力を合わせ活動することにより、社会全体で教育に取り組む仕組みづくりを進めます。

また、今後の教育のICT化への対応、「個別最適な学び」や「協働的な学び」の実現のため、連携協定を締結している東京学芸大学やNTT西日本等との共同による実証事業を推進します。

### 4 関係部局・関係機関等との連携・協力

施策の推進にあたっては、総合教育会議等の場で市長と十分な協議、調整を行い、教育施策の方向性を共有し、円滑かつ重点的に実施されるよう必要な予算確保に努めます。

また、子育て、地域づくり、福祉、環境等の市の関係部局や津山警察署、津山児童相談所等の県関係機関はもとより、国、県、周辺市町村と相互に連携・協力を図りながら、組織横断的な取組を展開します。

### 5 岡山県等との連携と学校の主体的運営への支援

各学校での教育活動が充実するよう、県の助言等も受けながら、適切な指導・助言や情報提供を行い、社会に開かれた特色ある主体的な学校運営を支援していきます。

## 6 進捗状況の点検と計画の見直し

毎年度、「津山市教育行政重点施策」を策定し、計画の着実な実施に努めるとともに、事務の管理及び執行の状況や計画の各取組で設定している目標値の達成度について点検・評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、広く公表します。

この点検・評価を通じて、PDCAサイクルを確立し、次年度以降の施策の改善等に生かすとともに、計画内容の適時・適切な見直しに努めます。

